

2015. 4. 28

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

## ★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

「子ども読書支援センターニュース」は、メールマガジン「本はともだち」でも読むことができます。新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

## 【山口県子ども読書支援センター行事】

### ★こどもの読書週間イベント「かがくであ・そ・ぼ！」

- 日 時：5月3日（日・祝日） 13：30～15：30 ○場 所：山口県立山口図書館
- 内 容：世界一のタイトルを持つ珍しいタネの紹介と模型製作。科学の本の紹介
- 講 師：嶋村 拓実 氏（山口県立山口博物館 学芸員） ○対 象：小学生（3年生以下は保護者同伴）
- 定 員：20名（要申込・先着順）
- 申込方法：5月2日（土）までに、電話、FAX、メールで申込み
- 申込み先：山口県子ども読書支援センター

### ★新刊児童書閲覧会

- 日 時：5月30日（土） 13：30～15：30 ○場 所：山口県立山口図書館
- 対 象：市町立図書館職員、学校図書館関係者、ボランティア等
- 定 員：30名（要申込・先着順）
- 申込方法：5月27日（水）までに、電話、FAX、メールで申込み
- 申込み先：山口県子ども読書支援センター

## 【新刊紹介】 価格は消費税抜き

### <絵本－乳幼児から>

『おばけとホットケーキ』 新井洋行／作 くもん出版 2015.2 ¥900

おばけのボボ君達が、料理を始めるよ。冷蔵庫を開けるから、メモに描いてある材料を探してね。全部見つかった？ホットケーキとジュースを作るみたい。お手伝いして一緒につくってみよう！ホットケーキをひっくり返すよ。フライ返しを持ってページをめくってね。せーの…！探して、振って、読者が物語に参加できるインタラクティブ絵本。読み聞かせにも。

### <絵本－3、4歳から>

『谷戸であそぼう 春』 相川明子／文 とみたしょうこ／絵 富山房インターナショナル 2015.2 ¥1800

谷戸（やと）は日本のどこにでもある谷あいのこと。子ども達とほーさん（保育者）が、小高い山を越え、谷戸に下りてきた。花が咲き、木が芽吹く春の谷戸は、楽しいこといっぱい。どろんこ遊びや川遊びをしたり、仲良くお弁当を食べたり…。仲間と助け合い、社会性を身に付けていく子ども達の姿を、泥の香りが漂うような迫力ある画面で描く。

### <絵本－5、6歳から>

『あつ！みーつけたっ！！』 くすのきしげのり／作 大島妙子／絵 光村教育図書 2015.2 ¥1300

学校からの帰り道、僕はもの凄いのを見つけた。この石、ライオンみたいや。ポケットに入れて持って帰って、色を塗ると、強そうなライオンになった。次の日は、カバのような石、その次の日は、背の高いキリン。毎日、動物の形をした石を集める僕の原因とは…。病気で入院している妹を想う少年の、健気でひたむきな行動に心温まる、家族の絆を描いた絵本。

### <絵本－小学校低学年から>

『みずたまのたび』 アンヌ・クロザ／さく こだましおり／やく 西村書店 2015.3 ¥1300

私は、猫が水を飲んだボウルの底に、一粒残った水玉。お日さまのおかげで小さな粒になって空に舞い上がり、雲に乗り、雨になって、また土の中へ。そして川から海へ…。さまざまな形に姿を変え、生き物達に出会いながら、地球を巡る水玉の冒険を描く。詩情あふれる文と、コンピュータを駆使した洗練されたイラストで水の循環を易しく伝える、スイスの絵本。

### <絵本－小学校中学年から>

『わすれたって、いいんだよ』 上條さなえ／文 たるいしまこ／絵 光村教育図書 2015.2 ¥1300

私のうちは、神奈川県で沖縄料理店をやっている。私とおばあちゃんの誕生日会をお祝いしたことがない。沖縄生まれで、日本が戦争をしていた子どもの頃、誕生日に悲しい思い出があったから。認知症になったことで、悲しい戦争の記憶が薄れ、初めて誕生日をお祝いできて…。戦争と平和への思い、忘れること全てが悪くはないと、包み込むような愛を感じる絵本。

### <読み物－小学校低学年から>

『くまんとうさぎくん くもようび』 さえぐさひろこ／文 おぐらひろかず／絵 アリス館 2015.2 ¥1300

くまんとうさぎくんは大の仲良し。いつも一緒にいてお互いのことを思っている。病気で学校を休めば、校庭の風をビンに詰めて届けよう、きれいな虹をみればそれを見せてあげよう。のんびりやのくまんと、元気なうさぎくんのおはなしを4編収録。新入学にぴったりな一冊。

### <読み物－小学校中学年から>

『いじめっこいじめられっこ ①』 谷川俊太郎と子どもたち／詩 童話屋 2014.7 ¥300

童話屋編集者田中和雄さんが行った「詩の授業」がきっかけで生まれた詩集。「いじめ」をテーマにした谷川俊太郎の詩と、小中学生の詩を収める。いじめをやめるためにいじめの詩を書こうと呼びかけており、続編の可能性も。子どものお小遣いでも買える値段を設定している。「小さな学問の書」シリーズ。

<読み物ー小学校高学年から>

『清政 絵師になりたかった少年』 茂木ちあき／作 高橋ユミ／絵 新日本出版社 2015.2 ¥1500

地本問屋・白子屋の跡取り息子、政之介は、絵の才能に恵まれ、浮世絵師鳥居清長への弟子入りを望むが、父の反対にあう。若旦那としての仕事をこなしつつ、絵師への夢をあきらめきれない政之介は…。江戸を舞台に、時代の流れに巻き込まれつつも、ささやかな灯火を見つけていく少年の葛藤を描いた物語。17,8歳で制作が途絶えた鳥居清長の長男清政と写楽という謎の多い実在の人物を結びつけている。

<読み物ー中学生から>

『赤いペン』 澤井美穂／作 中島梨絵／絵 フレーベル館 2015.2 ¥1400

夏野が住んでいる北海道のある町に最近広まった「赤いペン」の噂。人と話すのが苦手な夏野（中2）が、ペンに関わった人の物語を訪ね歩く。必要とする人の手に渡り、心の思いを表現して消えていく「赤いペン」にまつわる不思議なお話の数々。「お話」の楽しさ、「人が物語る」ことの意味が伝わってくる。初めての児童書出版。

『コミック密売人』 ピエルドメニコ・バッカラリオ／作 杉本あり／訳 岩波書店 2015.2 ¥1700

1989年社会主義体制下のブダペストで、15歳のシャーンドルは、禁じられていたアメコミを仲間と売りさばっていた。ところが、コミックを提供してくれていた人物の失踪、友だちの密告と、商売に危機が…。思春期の少年の友情、葛藤と成長をイタリアの作家が描く。2012年度バンカレリーノ賞受賞作品。STAMP BOOKS。

<ノンフィクションー小学校低学年から>

『こどもあんぜん図鑑』 講談社／文・絵 講談社 2015.2 ¥2500

小学校低学年の安全教育向きの一冊。見開き2ページで1つのテーマを扱い、イラストや写真が多く取り入れられているので安全に過ごすための対策までが分かりやすい。QRコード付きで、ホームページからワークシートがダウンロードできる。

<ノンフィクションー小学校中学年から>

『きみの未来と夢が広がる！わくわく資格ブック』 教育画劇 2015.2 ¥3000

「すき」「得意」「楽しい」から資格や検定を知ろう！学校や登下校時によくあるシチュエーションから自分に似た人を探せば、自分にぴったりの資格や検定が見つかる仕組。資格を取って自分の知識を伸ばしたり、できることを増やしたりすると、未来の夢や目標がぐんぐんふくらんでいく。1巻は、いろいろな仕事につながる資格や検定を紹介する。全3巻。

<ノンフィクションー小学校高学年から>

『生産・環境・福祉 日本の自動車工業』 鎌田実／監修 岩崎書店 2015.3 ¥3000

世界に誇る日本の自動車工業の姿を紹介。1巻は、日本の自動車の生産やしくみを解説。自動車産業の特色や自動車のつくり、自動車の開発・製造・販売、自動車工場の工夫などを、写真やデータをたくさん使ってわかりやすく掲載。5年社会科の学習に活用できる。全5巻。

<ノンフィクションー中学生から>

『医者になりたい 夢をかなえた四人の女性』 鳥田和子／作 新日本出版社 2015.3 ¥1500

中1のリコは医者になりたいと言い出した高1の姉から、江戸末期から昭和初期の男性社会の中で、女医という夢を切り開いた4人の女性の話を聞く。日本で初めての女性医師となったシーボルト博士の娘・楠本いね、公許女医第1号・荻野今子、東京女子医科大学の創立者・吉岡弥生、ハンセン病に身をささげた小川正子の4人。『ゆうゆう糖尿病』連載を単行本化。

<研究書>

『子どもと本』 松岡享子／著 岩波書店 2015.2 ¥820

東京子ども図書館の理事長であり、児童文学の第一人者である著者が、幼少時から今に至るまでの本との関わり、大人が本を読んでやることの意義、昔話の持つ力、選書の大切さなどについて語る。最終章では石井桃子著『子どもの図書館』（岩波新書）から半世紀後の子どもの読書環境について記録し、提案をしている。岩波新書 新赤版。

『子どもと本をつなぐ橋』 田島多恵子／著 東京図書出版 2014.11 ¥1200

子ども文庫活動を長年続ける著者が、子どもたちの姿を観察し、考え、気づいたことを書き止め、様々な雑誌に掲載してきたものをまとめたもの。家庭での読み聞かせの大切さ、ボランティアとしてすべきこと、公共図書館の児童室の問題、子どもの伝記についてなど、示唆に富んだ内容となっている。巻末に紹介図書の索引あり。

【県内の動き】

★こどもワイワイ図書館

○日 時：平成27年5月5日（火） 11:00～16:30

○会 場：山口市立中央図書館 ○内 容：紙飛行機をつくろう、絵本の読み聞かせと音楽会、おはなし会など

○主催・連絡先：山口市立中央図書館（電話 083-901-1040）

★こども春まつり

○日 時：平成27年5月9日（土） 14:00～15:50

○会 場：宇部市立図書館 ○内 容：パネルシアター、手品、朗読劇など

○主催・連絡先：宇部市立図書館（電話 0836-21-1966）

★読み聞かせ絵本を楽しむ会

○日 時：平成27年5月14日（木） 10:00～12:00

○会 場：山陽小野田市立中央図書館 ○対 象：絵本の読み聞かせ活動に関心のある大人

○定 員：15名（要申込） ○問合せ・申込先：山陽小野田市立中央図書館（電話：0836-83-2870）

※子どもの本や読書についてのイベント情報をお寄せください。